

第6次 高萩市総合計画

Takahagi City Grand Master Plan 2021-2030



高萩市

ごあいさつ



本市では、平成28年3月に第5次高萩市総合計画を策定し、市民の皆様や関係各位との協働によりまちづくりを進めてまいりました。

しかしながら、急速な人口減少や少子高齢化の進展、自然災害の激甚化や頻発化に加え、新型コロナウイルス感染症による市民生活の変容、ICT（情報通信技術）社会の進化など、本市を取り巻く社会情勢や地域動向は大きな転換期に差し掛かっています。

こうした社会情勢等の変化もふまえ、将来にわたって持続可能な地域であり続けるための自治運営の指針として本市はこの度、第6次高萩市総合計画を策定いたしました。

本計画で掲げる「地域力が笑顔を育むまち 高萩 ～みんなが豊かさを実感できるまちを目指して～」を将来都市像と定め、時代の変化に柔軟に対応した持続可能な地域づくりを展開するとともに、未来を担う子どもたちが健やかに育まれ、将来への夢を抱くことができるまちの実現を目指してまいります。

市民の皆様や関係各位におかれましては、引き続き協働によるまちづくりに取り組んでくださいますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、アンケート調査や様々な機会を通し貴重なご意見をいただきました市民の皆様をはじめ、専門的見地からご審議いただきました総合計画審議会委員の皆様並びに関係各位に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

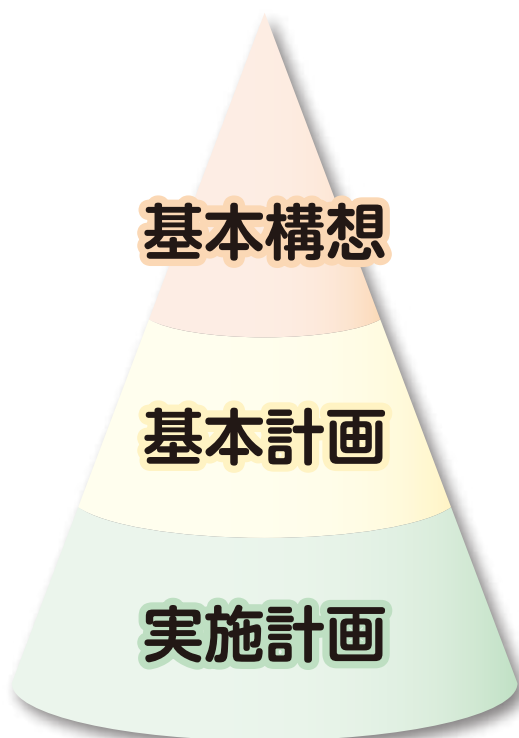
令和3年3月

高萩市長 **大部 勝規**

計画の構成と期間

計画の構成

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成します。



●基本構想…長期的な取組

「こうありたい」という、高萩市のまちづくりの将来像（基本理念、将来都市像、基本目標等）を示すものです。

期間は、令和3年度を初年度とし、令和12年度を目標とした10年間とします。

●基本計画…中期的な取組

基本構想を実現するために必要な、基本政策や施策の展開を示すものです。

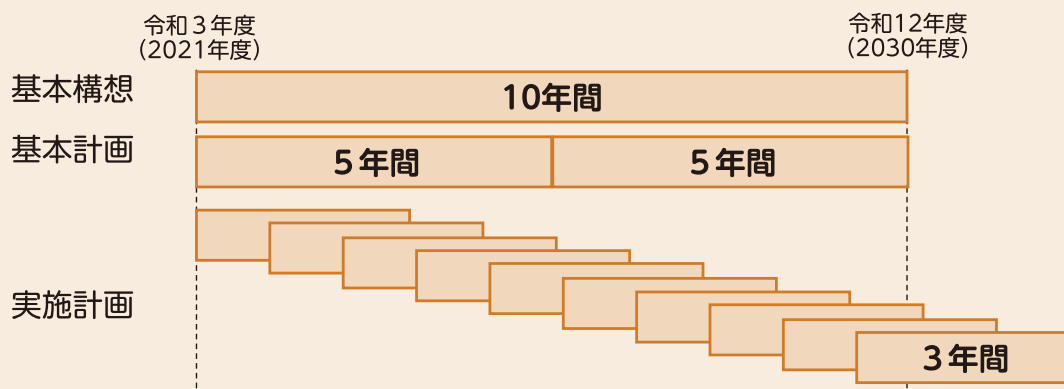
期間は5年間とし、令和3年度から令和7年度までを前期、令和8年度から令和12年度までを後期とします。

●実施計画…短期的な取組

基本計画を実現するための具体的な施策や事業を示すものです。

期間は3年間とし、計画内容を毎年見直すローリング方式とします。

計画の期間



※事業・施策の進捗等を踏まえて毎年見直しを行う。

基本構想

基本理念

持続可能なまちづくりを実現するために、地域の風土を継承し、新しい時代のライフスタイルに応えることのできる「私たちのまち高萩」をつくっていきます。

私たちのまちに住む人、私たちのまちで働く人、私たちのまちで出会う人が主体となり、いきいきと躍動するまちづくりをめざします。

住む人 のためのまちづくり

「私たちのまち高萩」に住む人々が、住んで良かったと実感するまちづくりをめざします。

働く人 のためのまちづくり

「私たちのまち高萩」で働く人々が、さまざまな経済活動を通して、地域の振興とそれぞれの生きがいを見出し、力強く躍動するまちづくりをめざします。

出会う人 のためのまちづくり

「私たちのまち高萩」に暮らす人々が、世界中の国や地域とつながり、新しい時代の英知を結集し、このまちの歴史・風土を発信する出会いと新しいコミュニティを形成するまちづくりをめざします。

将来都市像

地域力が笑顔を育むまち 高萩 ～みんなが豊かさを実感できるまちを目指して～

市民の誰もが笑顔で暮らすことができるまちを未来へ継承し、時代の変化に柔軟に対応した持続可能なまちづくりを展開していくために、この地に住む人（地域人）、風土（地域資源）、コミュニティ（地域社会）を活用し、市民・事業者・行政が一体となった持続可能な都市を創造していきます。

基本目標

計画の基本理念及び将来都市像を踏まえ、次の3つの基本目標を設定します。

基本目標

1

地域人の 活躍するまち

地域人とは
高萩と深く
つながりのある人々

基本目標

2

地域資源の 価値向上

地域資源とは
景観、地形、歴史など
私たちの暮らしと共存して
受け継がれているもの

基本目標

3

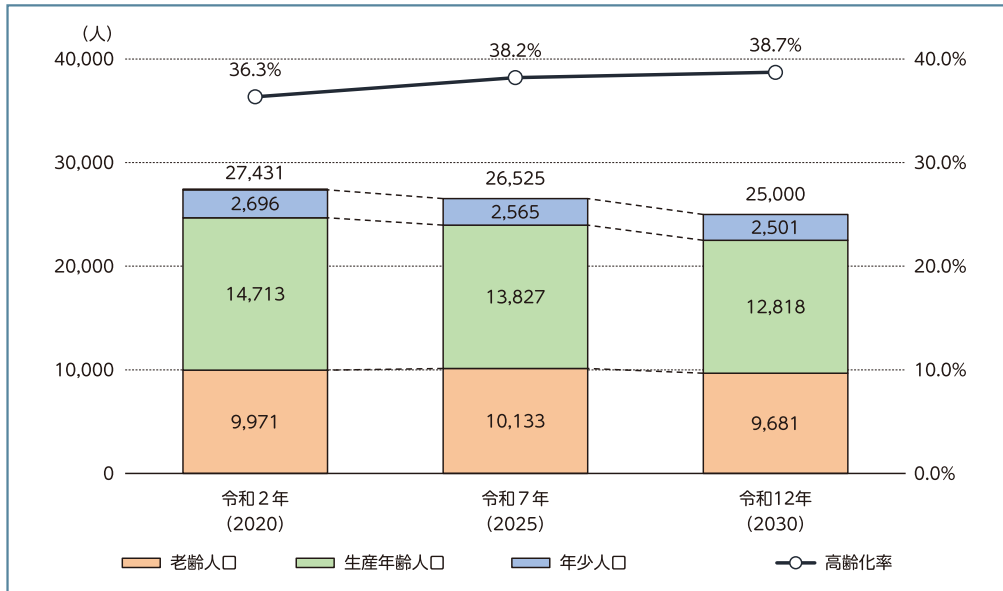
コミュニティでつなぐ 地域社会

地域社会とは
時代の変化に柔軟かつ的確に
対応していくことのできる
地域社会

将来人口

第2期高萩市創生総合戦略における人口ビジョンでは、社人研準拠人口の約17,700人から2,600人の増加を見込み、令和27年(2045年)における本市の将来人口目標を20,300人としています。

それを踏まえ、本計画の目標年となる令和12年(2030年)における本市の将来人口目標を25,000人とします。



土地利用

高萩市の豊かな地域資源である自然や歴史に培われた風土の継承に配慮しつつ、目的や役割に応じた土地利用を図りながら、持続可能なまちづくりを構想します。

都市部の土地利用

都市部は、おおむね常磐自動車道から東側に位置する地域です。中心拠点への都市機能の集約化を図りながら、ネットワークにより拠点間が連携した生活圏域を形成するコンパクトな多極型都市構造の形成を進めます。

農地、集落地の土地利用

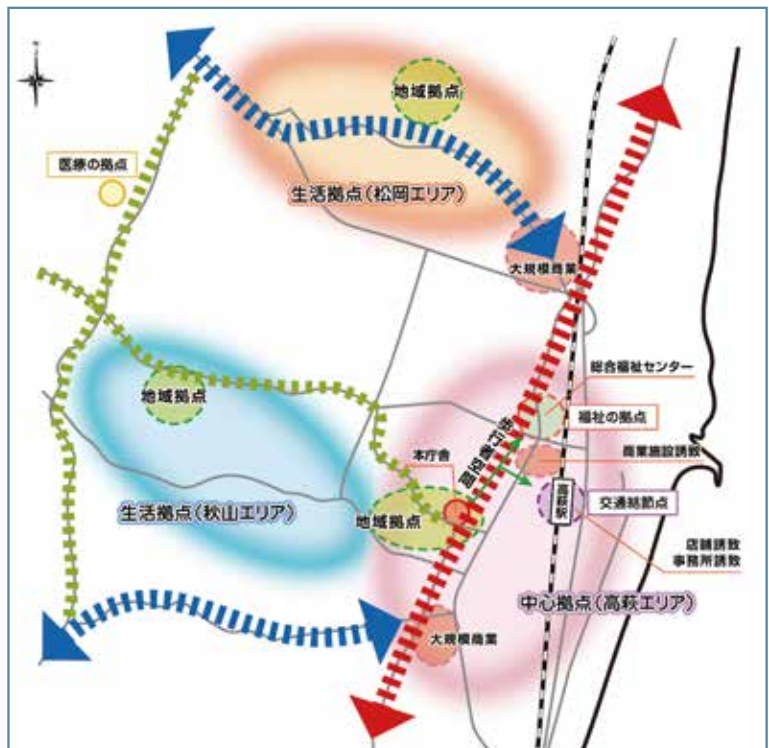
市域の南・北を流れる花貫川や関根川等の流域に広がる農地を積極的に保全し、都市部の拠点エリアとの調和を図るとともに、耕作放棄地等の適正な管理と利用に努めます。

自然環境保全の土地利用

市の西側に連なる丘陵の斜面林や、平地部にまとまった平地林等は、本区域の自然環境の骨格を形成しています。また、貴重な文化財による歴史・文化的景観等地域資源の保全に努め、快適な土地利用を維持します。

災害に強い土地利用

災害に強いまちづくりに向け、津波や浸水被害、土砂災害、液状化等の地盤災害等が発生する恐れのある地区について、地形特性を踏まえた安全な土地利用の誘導を図ります。



基本政策⑥

地域経営

共に生き、共に創り上げる
持続可能なまち

- ⑦ 移住・定住
- ⑥ 広報・広聴
- ⑤ 交流・連携
- ④ 男女共同参画
- ③ 人権
- ② 市政経営
- ① 市民協働



基本政策⑤

社会基盤

風土を継承する
強靱で柔軟な
社会基盤づくり

- ⑥ 情報・通信
- ⑤ 水質保全
- ④ 水道水
- ③ 公共交通
- ② 道路・河川
- ① 都市計画



基本政策④

生活環境

地域資源と暮らしが
融合し継承されるまち

- ⑦ 防犯・消費生活
- ⑥ 防災
- ⑤ 消防
- ④ 交通安全
- ③ 環境衛生
- ② 循環型社会
- ① 自然環境共生



基本政策③

経済・産業

地域力が経済活動を
誘発する魅力あるまち

- ④ 観光
- ③ 商工業
- ② 山間地域
- ① 農林業



基

本計画

政策別施策

6つの柱（政策）を実行する手段として、34の施策を定めます。
個別の施策にSDGsのゴールを関連付けることで、
一体的に推進していきます。

基本政策①

保健・医療・福祉

健やかに笑顔で
暮らしを支え合うまち

- ① 健康
- ② 地域福祉
- ③ 少子化対策・子育て支援
- ④ 高齢者福祉
- ⑤ 障がい者・障がい児福祉
- ⑥ 社会保障



基本政策②

教育・文化

未来を切り拓く
地域人（萩っ子）が
育つまち

- ① 学校教育
- ② 生涯学習
- ③ スポーツ振興
- ④ 市民文化



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月に国連で採択された、17のゴールと169のターゲットで構成されています。誰一人取り残されない持続可能な社会をつくるために、経済・社会・環境の3つの側面から、目標の達成に向けて、多様な視点と取組事項が盛り込まれています。

政策・施策一覧

施策には、「基本方針」と施策の達成状況を測る「目標指標」を設定します。

基本政策	施策	基本方針	目標指標	現状値	目標値
基本政策 ① 「保健・医療・福祉」	① 健康	保健・医療・福祉の連携により、地域医療の確立が図られ、市民が心身ともに健康的な生活を送ることができる社会を目指します。	1年間に健康診査を受けたことがある市民の割合 1年間にがん検診を受けたことがある市民の割合 幼児健康診査(3歳児健診)平均受診率 人口10万人あたりの自殺死亡率	76.5% 40.9% 91.6% 13.7人以下	80.0% 50.0% 95% 6.9人以下
	② 地域福祉	地域住民やボランティア等多様な主体と連携・協力し、市民と行政の協働による地域福祉活動を目指します。	福祉関係の登録ボランティア数 福祉関係のNPO、ボランティア団体数	295人 17団体	320人 18団体
	③ 少子化対策・子育て支援	充実した子育て支援サービスと経済的支援により、安心して子どもを産み育てることができる子育て環境を整えます。	合計特殊出生率 特定教育・保育施設入所の待機者数	1.36 0人	1.46 0人
	④ 高齢者福祉	世代を超えた市民が地域全体を支え合い、元気に暮らしていけるまちを目指します。	高齢者の相談窓口「高萩市地域包括支援センター」を知っている割合	42.0%	50.0%
	⑤ 障がい者・障がい児福祉	必要に応じた福祉サービスを受け、住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせるよう取り組みます。	障がい者・障がい児福祉について、現在の施策に満足している市民割合	12.1%	15.0%
	⑥ 社会保障	生涯にわたって健康で安心できる暮らしを営み、自分らしい生活が送れる地域社会を目指します。	※国の制度に基づく運用のため、成果指標は設定しません。		
基本政策 ② 「教育・文化」	① 学校教育	一人一人の個性や能力、可能性を広げる教育内容を充実させ、生涯をよりよく生きるための豊かな心と健やかな体を持つ、生き生きとした秋つ子を育てます。	秋つ子5(5つの約束)を意識した生活を送れた児童生徒の割合 県学力診断テスト市平均点と県平均点との差 学校給食の残食率	84% -3.8点 16.4%	88% +0.5点 15%
	② 生涯学習	誰もが自由に学習機会を選択して学び、それを地域や家庭内で活かしていくことで、生きがいや充実感を持って暮らせる社会を目指します。	公民館講座参加者数 市民指導者登録数	1,479人 60人	1,500人 60人
	③ スポーツ振興	幅広い世代の市民が多種多様なスポーツ・レクリエーション活動へ参加できる機会の増加に努めます。	市主催のスポーツイベントへの参加者数	3,200人	3,500人
	④ 市民文化	郷土の歴史や文化財を知り、身近に触れることができ、郷土に関心が持てる環境を整えます。	高萩市文化祭の参加者数 高萩市歴史民俗資料館の入館者数 「高萩市国際交流のつどい」参加者数	2,710人 3,010人 20人(外国人) 15家族(ホストファミリー)	2,710人 3,600人 20人(外国人) 18家族(ホストファミリー)
基本政策 ③ 「経済・産業」	① 農林業	農業産出額の増加や、新規就農者や担い手の育成・確保に取り組み、農業経営の安定化を図ります。	農業産出額 計画的に手入れがなされている森林の面積	耕種64千万円 畜産86千万円 5,661ha	耕種70千万円 畜産95千万円 7,500ha
	② 山間地域	地域特有の森林資源や農村景観等を活かした施策に取り組み、山間地域の活性化と生活環境の確保に努めます。	山間地域の調査面積 山間地域内での交流事業参加者数	13.0km ² 597人	17.1km ² 760人
	③ 商工業	商工業の活性化、雇用を拡大し、店舗数の維持と売上高を向上させます。	年間商品販売額 製造品出荷額	2,919千万円 12,428千万円	2,919千万円以上 13,670千万円
	④ 観光	特徴ある地域資源を活かした魅力ある観光地の形成を図ります。	観光客入込数	296,200人	400,000人
基本政策 ④ 「生活環境」	① 自然環境共生	生活環境の維持・向上を目指した取り組みを推進します。	温室効果ガス排出量(市関連施設) 環境保全意識の啓発活動回数	2,731.3t-CO ₂ 5回	2,594.7t-CO ₂ 10回
	② 循環型社会	廃棄物の再利用化や資源化を徹底し、持続可能な循環型社会の実現を目指します。	最終処分率	11.2%	11.0%以下
	③ 環境衛生	美しく豊かな自然環境の保全とともに、市民や地域、企業等の主体的な環境美化等に関する活動を支援します。	生活環境に満足している市民割合	53.7%	70%
	④ 交通安全	市民一人一人が交通ルールを守り、交通事故がない安全に安心して暮らせるまちにします。	交通事故件数 交通事故死亡者数 交通事故負傷者数	32件 0人 37人	30件 0人 35人
	⑤ 消防	市民の生命及び財産を守り、防火意識の高揚と防火管理体制を強化します。	救急救命士数(消防署) 消防水利の設置数	14人 565基	16人 574基
	⑥ 防災	市民が自助・共助の意識を持ち、日頃から災害に備えることができるよう取り組みます。	自主防災組織数 市有の特定既存耐震不適格建築物の耐震化率	25団体 96.9%	27団体 100.0%
	⑦ 防犯・消費生活	消費者トラブルを減らし、犯罪が起こりにくいまちを目指します。	防犯活動を行っている団体数 街頭防犯カメラの設置台数 トラブルの解決策を知っている市民割合	7団体 13台 84.5%	12団体 18台 94.0%
基本政策 ⑤ 「社会基盤」	① 都市計画	誰もが安全で安心に暮らせる、快適で魅力あるまちづくりを進めます。	地域の特色を生かし、誰もが快適に暮らせるまちづくりになっていると思う市民割合	58.8%	70%
	② 道路・河川	幹線道路を整備促進するとともに、安全で快適な道路ネットワークの確立に努めます。	道路・河川維持管理上の事故件数	5件	0件
	③ 公共交通	利用者ニーズを踏まえ、日常生活において利用しやすい公共交通の運行に努めます。	市内路線バス、デマンド型乗合タクシーの利用人数	75,353人	94,000人
	④ 水道水	地震や大雨等の自然災害に強い水道施設の更新を計画的かつ着実に実施します。	水道普及率 有収水量率	97.4% 90.9%	97.5% 95.5%
	⑤ 水質保全	汚水の適切な処理によって、市民が衛生的・快適に暮らせるよう取り組みます。	BODの値 関根川 花貫川	0.8mg/L 0.7mg/L	0.8mg/L 0.7mg/L
	⑥ 情報・通信	AIやIoT等の新しい技術を取り入れ、基盤の拡充・強化を進めます。	公共施設における公衆無線LANの整備基数 電子申請手続きが可能な項目数	13基 15項目	20基 30項目
基本政策 ⑥ 「地域経営」	① 市民協働	地域コミュニティ活動の支援や情報発信に努めます。	市民と行政が役割分担し、協力してまちづくりをしていると思う市民の割合	24.4%	50.0%
	② 市政経営	市民ニーズや地域課題への取組を反映した各種計画を実行します。	施策目標の達成率 ふるさと納税寄附額	24.5% 1,250万円	100% 4,000万円
	③ 人権	人権教育や啓発活動を通し、市民の人権尊重の意識醸成を図ります。	人権が尊重されているまちであると思う市民割合	45.6%	60%
	④ 男女共同参画	性別にとらわれることなく、あらゆる分野で活躍する男女共同参画社会を構築します。	あらゆる場面で、男女が平等だと思う市民割合	25.0%	50%
	⑤ 交流・連携	多様な主体との広域的な連携により、効率的な行政運営に努めます。	他自治体、企業や大学等との協定等締結数	84件	90件
	⑥ 広報・広聴	多様な情報伝達手段を使い、市政情報が分かりやすく、より多くの市民へ伝わるよう努めます。	市ホームページ閲覧数	140,213件	165,000件
	⑦ 移住・定住	本市の魅力を知ってもらい、移住検討者や地方と関わりを持とうとする方に対して効果的に情報発信を行います。	移住・定住支援策による転入世帯数	4世帯	7世帯 (5ヵ年平均)

第6次高萩市総合計画 概要版 令和3年3月

発行 高萩市 編集 企画広報課

〒318-8511 茨城県高萩市本町 1-100-1

TEL 0293-23-1111

<https://www.city.takahagi.ibaraki.jp/>